



< 滕 玉娣 (とう ぎょくてい) >

国、地域：中国（深圳）

年 齢：59歳

現 職：深圳深三和日本食品有限公司 董事總經理
深圳市日式料理行業協会 会長

○ 深圳を中心とした中国における日本産食品と日本食の普及拡大

- ・ 1994年に日本産食品の取り扱いを開始。現在では地域で最も信頼できる日本産食品の輸入先として認められ、日本産食品の販路開拓に貢献。
- ・ 日本料理及び日本食文化の更なる普及を目指した「深圳市日式料理行業協会」を設立。同協会の会長として食品安全行政の情報交換や料理講習会を実施するなど、中国華南地域の日本食普及の第一人者として活躍。

上海對外經貿大学日本語本科にて日本語や日本文化を学び、1985年から1994年まで総合商社である兼松株式会社深圳支店にて中国産農産物の輸出業務を担当する。

1994年、深圳深三和日本食品有限会社を設立。以降25年以上にわたり、日本産食品の輸入業務に従事する。同社設立当初、深圳市を含む中国華南地域では日本料理店は2軒しか無く、日本料理及び日本産食品に触れる機会は少なかった。しかし、「中国国内における開放政策が進めば日本との経済関係が深まり、日本料理・日本産食品はより身近になる」との信念で、日本産食品の販売開拓に取り組み続けた。深圳市の発展も背景に、現在では市内約2000店の日本料理店をはじめ、イオンなど小売店とも取引する等、現地における日本産食品取扱の第一人者として認められている。

2019年には中国初の日本料理店に特化した団体「深圳市日式料理行業協会」を設立。同協会は中国で唯一、地元政府（深圳市）に登録された業界団体であり、会員企業は現在200社に上る。協会の運営をはじめ、様々な日本料理関係のイベントを開催、また料理人の救援基金RSS(Restaurant Staff Salvation)を設立し、日本料理店に勤めるスタッフの支援活動を行っている。更には同年、中国唯一の日本料理学校「日本料理商学院」を設立。日本料理人の育成にも力を入れる等、日本食文化普及に多大な貢献を果たしている。